

# 平成26年度 胎内市理科部 活動報告

部長 相座 昭仁 (中条小学校)

## 1 研究主題

自然事象に対する児童生徒の科学的思考力を高め、  
表現する能力を養う指導の在り方

## 2 研究内容の概要

(1) 第1回部会 「事業計画の立案」 会場 中条小学校 15:30～ 参加者 16人  
授業の中で指導しにくい、観察させにくいと感じる内容について話し合いながら、  
研究主題と研究の進め方について検討した。

(2) 第2回部会 「昆虫標本作り教室」 会場 中条小学校 9:00～ 参加者 11人

① 講師 遠藤 正浩 様 (胎内昆虫の家)

② 概略

胎内昆虫の家職員の遠藤正浩様に、昆虫標本の作り方や保存の仕方、展示の仕方について指導していただいた。また、昆虫を標本にすることで、後世に伝えるという大きな役割も果たしていることを学んだ。実際に、アゲハチョウを用いて、一人一人が標本作りをし、標本作りのスキルを磨いた。

(3) 「指導案検討会」 会場 中条小学校 18:30～ 参加者 8名

① 指導者 奈良橋 隆己 様 (黒川中学校教頭)

② 概略

中学2年生「電流とそのはたらき」を題材に教材研究と指導案検討を行った。

(4) 第3回部会 「授業研究会」 会場 中条中学校 13:40～ 参加者 16人

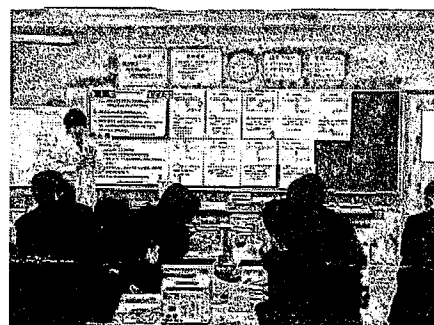
① 授業者 白井 明日華 教諭 (中条中学校)

② 単元名 「電流とそのはたらき」

③ ねらい 抵抗ブラックボックス内の配線を、回路のつなぎ方やオームの法則などの既習事項を活用しながら推定し、抵抗ブラックボックスにおいて、抵抗が一番大きくなるつなぎ方を理由とともに説明できる。

④ 協議会での意見・感想

- ・抵抗ブラックボックス、ヒントカード、回路図ホワイトボードなどの教材教具が、生徒の興味関心を高め、意欲的に実験に取り組み、関わり合いながら抵抗を求める姿が見られて良かった。
- ・中条中学校技術科チームによる自作教材「抵抗ブラックボックス」は非常に良かった。いろんな学校で使用できるとよい。
- ・生徒間での作業分担や、電源装置の扱い方、回路の組み方がとてもスムーズで、鍛えられている姿が見られた。



## 3 成果と課題

(1) 成果

追究意欲を高める自作教材を用いることで、科学的に思考する授業の在り方について学び、指導方法の改善に取り組むことができた。

(2) 課題

小中ともに研究主題へのそれぞれの取組について共有する場を設定する必要がある。